

30年度 事業計画

【30 年度 法人としての事業方針】

「次代を担う子どもたちとの“つながり”をつくる情報発信と事業展開－メンバー間の横のつながりをモチベーションにした体制づくり－」

平成 30 年度の当法人の方針は、29 年度から継続し「次代を担う子どもたちとの“つながり”をつくる情報発信と事業展開－メンバー間の横のつながりをモチベーションにした体制づくり－」としました。引き続き、八幡浜の次代を担う「子どもたちの育成」に力を入れるとともに、活動が不十分であった「メンバー間の横のつながりづくり」を再度取り組んでいきます。

また、当法人は任意団体創立時から 10 年を超えており、私たちがまちで担う役割と「成果目標」（何を指標として目指すか）を定めたうえで、事業を選択・集中し、次代に受け渡しできる体制づくりにも取り組んでいきます。

<今年度の主なテーマ>

1. 中間支援事業の推進力の強化
2. オチャップをきっかけにした子ども向けプログラムの試行
3. 子どもの参加促進と情報発信力の強化
4. メンバーの横のつながりを作り、モチベーションアップを図る

【各事業等の計画】

1. つながり事業

(1) まちづくり意見交換会（オチャップ）

今年度も引き続き、みなと交流館と共催し、1 回の開催を予定しています。今年度も主に子どもに焦点をあて、親世代も巻き込みながら子どもたちが地域に目を向けられるオチャップにしたいと思います。

(2) 交流会

年末恒例行事となりました「YGP なかよし運動会」を今年度も開催します。「チームしろまち」をはじめとした地域の他団体の協力のもと、個人・他団体に呼びかけて参加者を募り、つながりや絆を深める機会にしたいと思います。

2. まち育て事業

<プロジェクト>

(1) 88プロジェクト

毎年5月5日に「BOCOタワー世界選手権」を開催し、練り物産業の振興を図ります。それ以外の日にも、「BOCOタワー体験」及び貸出を通じて、子どもたちに向けて、八幡浜のことを知ってもらうこと、愛着を持ってもらうことを目指します。

八幡浜の「空き家」の利活用を促進できるよう、「空き家」活用に取り組まれている全国的な事例を調査し、八幡浜において「空き家」の利活用の仕組み作りを検討していきます。

(2) つながり事業から生まれたアイデアの育成

オチャップで生まれたアイデアを吸い上げ実現するための「子ども向けまち育てワークショップ」(仮称)を開催します。子どもたちの発想力や行動を私たちがサポートしながら進めていきます。

<中間支援事業>

(1) みなと交流館等指定管理業務における中間支援業務へのリソース提供

引き続き、みなと交流館中間支援業務に力強いリソースを提供していきます。同館内の他業務やYGP内の事業と連携しながら、全員で中間支援を行い、成果を上げていく体制づくりに取り組みたいと思います。また、地域活動団体ポータルサイト「TUMUGU」(つむぐ)をみなと交流館とともに運営(更新等)していくことを通じ、地域活動に有益な情報を随時発信していきます。

なお、本年度についても、NPO法人活動助成事業(中間支援)の助成を受ける予定です。

(2) 中間支援パッケージの強化・売り込み

「活動紹介書」を増刷・活用し、メンバー全員でYGPに対する理解・共感を獲得していくとともに、当団体が提供できる講座やツールなどを売り込んでいきます。

なお、本年度についても、愛媛県南予地方局から委託事業(いやしの南予ステップアップ支援事業)を受ける予定です。

(3) 愛媛に来たくなるWEBメディア「KITONARU」(きとなる)の運営

28年度立ち上げた“気になる”愛媛・八幡浜のグルメ・観光情報を集めたWEBサイト「KITONARU」(きとなる)については、実質的な運営・執筆がYGPメン

バー以外で行われており、「KITONARU編集部」として独立を図ります。YGPとしては、引き続き協働事業として、サポートを行っていきます。

3. 事務局

(1) 基本計画書・5か年計画の策定

現在継続して行っている、YGPの方向性を議論する「ドリームミーティング」を行い、「基本計画書」、「5か年計画書」の策定を行います。特に、YGPの考える八幡浜の「課題」と「理想」を出し合い、私たちの担う役割と「成果目標」（何を指標として目指すか）を定めていきたいと考えています。

(2) 情報共有

① 理事者間での情報共有

理事会の開催を、総会の議題を決定する6月頃と、半期の振り返りを行う10月頃の年2回とし、定款に定められた形での開催を行います。また毎月1回程度、理事ミーティングを理事者の議事持ち寄り形式で行い、効率的に情報共有・方針決定を行います。上記には、必要に応じてメンバーにもオブザーバー参加を求め、法人の運営に関与してもらうように働きかけます。

なお、日常の情報共有・決定については、現在導入しているグループウェア「Kintone」（キントーン）を昨年度に引き続き活用していきます。

② 正会員との情報共有

情報共有・チーム作り・レベルアップなどに合わせて、今年度は交流を深めるということも意識し、全体会を月1回（原則：最終木曜日）に開催します。また、昨年度実施できなかったスピーチタイムを設けメンバー間の交流のきっかけ作り及び一人一人のレベルアップの機会とします。

なお、日常の情報共有・決定については引き続き「Kintone」（キントーン）を使うと共に、「LINE」を併用し、情報共有の漏れ防止や速攻性を求めています。

(3) 正会員の拡充とアプローチ

サポーターや活動参加者の中で、運営にも関わってもらえるメンバーを増やしていきます。（目標：純増3名）

そのため、「正会員を募集している」という情報をアナウンスするとともに、正会員希望者の「強み」が活かされるような役割を振っていくことを心掛けていきます。

また、参加率を上げるため、直接話す機会を理事者や責任者が中心となってカウンセリングやフォローアップを行っていきます。

(4) サポーター（支援者含む）の拡充とアプローチ

今年度は、現在イベント等に継続して参加していただいている参加者層をターゲットに、サポーター獲得に動いていきます。（目標：純増5名）

そのため、今年度公開する新ホームページについても、ただ公開するだけでなく、効果的に活用するための、誘導や更新を定期的に行っていきます。

また、活動を紹介したメールマガジンの配信についても、配信先の整理や効果的な配信方法の検討を随時行っていきます。

(5) PR活動（広報）

ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターを基本ツールとして、活動の予告・結果などの情報を発信していきます。YGPのファンに、まずはなっただけのような、魅力的な情報発信に心掛けるとともに、頻度を上げて随時更新をしていきます。

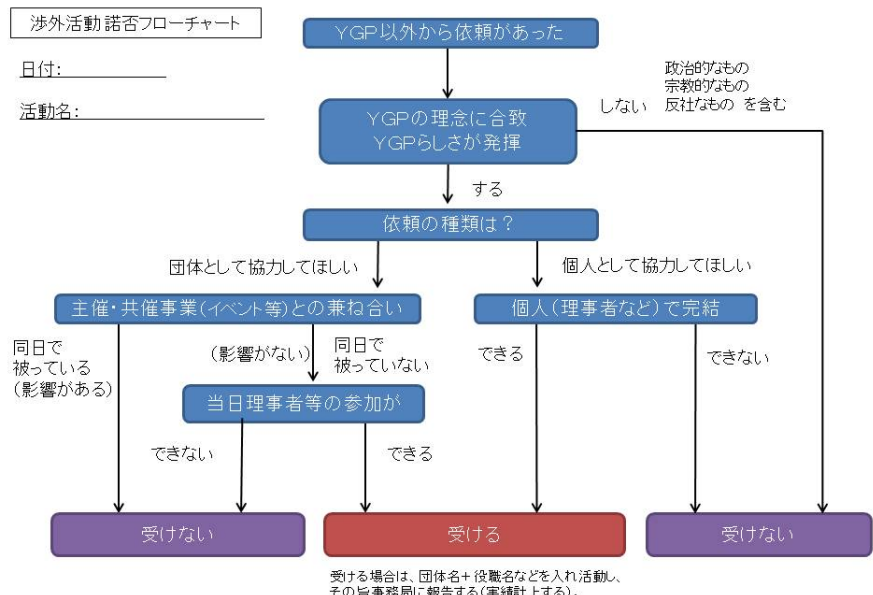
なお、今年度は現在少なくなっている、YGPとの交流のきっかけを創る場として、交流会や清掃活動を定期的に行います。

(6) 渉外活動

原則、YGPの独自事業を優先するとともに、受ける際は、組織内ルールに基づいて、諾否・対応者等を決定していきます。

なお、講演・委員派遣については、①YGPの人材をグローバルに活用する（人財育成・活用）、②考え方や取組を広く周知する（広報）、③委員輩出により、地域や他団体に貢献する（地域貢献+つながりづくり）の側面があることから、積極的に行っていきます。

<フローチャート図>



※ 委員の委嘱依頼、みなと交流館の「中間支援」以外の業務に係る依頼についても、本表に基づき諾否を決定する。
※ 本表は、原則であり、相手先との関係性もあることから、理事にて随時協議を行い、例外を認める。

(7) 会計

今期も引き続き、「ボランティアの人件費換算」を行います。目に見えないボランティアの人件費を時間数×愛媛県の最低賃金にて算出し、活動計算書に計上します。

また、今期は特に、期中時点で予算管理を効率的に行っていきたいと考えています。

(8) 事後管理（記録・評価）

イベントや活動後、その都度反省や評価、ノウハウを記録し、報告業務の効率化を図ります。なお、記録漏れがないように理事ミーティングにて随時チェックをしていきます。

評価については、昨年度実施した、第三者評価での指摘事項の改善の着手に重点を置きます。外部評価としては、街頭調査を八幡浜市内にて日を決めて行います。

平成30年度 活動予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	45,000	45,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	20,000	
受取諸謝金	50,000	
ボランティア受入評価益	4,200,000	4,270,000
3 受取助成金等		
受取助成金	780,000	780,000
4 事業収益		
つながり事業収入	10,000	
まち育て事業収入	20,000	30,000
5 その他の収益		
活動支援金収入	30,000	
雑収入	30,000	60,000
経常収益計		5,185,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
ボランティア受入評価費用	1,400,000	
人件費計	1,400,000	
(2) その他経費		
つながり事業	20,000	
まち育て事業 (88プロジェクト他)	80,000	
まち育て事業 (中間支援事業)	780,000	
支払手数料	1,000	
通信運搬費	1,000	
会議費	3,000	
支払保険料	10,000	
消耗品費	5,000	
雑費	2,000	
その他経費計	902,000	
事業費計		2,302,000
2 管理費		
(1) 人件費		
ボランティア受入評価費用	2,800,000	
人件費計	2,800,000	
(2) その他経費		
支払手数料	3,000	
HP管理費	21,600	
賛助会員費 (ボーイスカウト・子どもチャレンジ)	3,000	
通信運搬費	1,000	
消耗品費	5,000	
印刷製本費	10,000	
繰延資産償却	15,374	
その他経費計	58,974	
管理費計		2,858,974
経常費用計		5,160,974
当期経常増減額		24,026
当期正味財産増減額		24,026
前期繰越正味財産額		501,769
次期繰越正味財産額		525,795

※ 今年度はその他の事業を実施しません。

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、会計処理上は、事業の種類ごとに区分して記載する。事業費の例としては、「〇〇事業費」（注・・・当該事業の実施のために直接要する人件費・交通費等の費用が含まれる。）等が挙げられる。
- 3 支出規模（事業費＋管理費）でみた特定非営利活動に係る事業の割合、総支出額に占める管理費の割合等は、特定非営利活動を行うことを主たる目的とすること、営利を目的としないものであることという法定要件への適合性の判断材料となる。

(注記)

- 1 正会員受取会費・・・正会員13名（うち1名高校生以下）で計上しています。
- 2 受取寄附金・・・寄付金目標額20,000円で計上しています。
- 3 受取助成金・・・NPO法人活動助成事業（中間支援講座等300千円：申請中）
いやしの南予ステップアップ支援事業（480千円：申請中）